

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	急速進行性糸球体腎炎の全国症例疫学調査
当院の研究責任者	大澤 紀之
他の研究機関および各施設の 研究責任者	筑波大学附属病院 山縣 邦弘
本研究の目的	急速進行性糸球体腎炎の日本全国の実態調査、治療法の調査を行うために、全国の主要腎疾患診療施設において、急速進行性糸球体腎炎の症例調査を行います。全国から寄せられた調査結果を基に筑波大学 腎臓内科を事務局として、統計解析を行い、この病気にかかりやすい年齢や病型、ならびに治療方法と予後との関連を調べます。その結果は治療法のガイドラインとしてまとめ、全国の同じ病気にかかる（かかっている）患者様の治療に役立てていただくための資料となります。
調査データ該当期間	およそ 2 年程度で（2025 年 3 月 31 日予定）研究を完了する予定です。
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者様 2016 年～2019 年度の間に新規に発症した急速進行性糸球体腎炎（RPGN）の患者様となります。 ●利用する情報 発症時の年齢、性別、原因疾患、肺病変の有無、診断時の腎機能（血清クレアチニン値）、ヘモグロビン濃度、血清 CRP 値、血清 MPO-ANCA 値、PR3-ANCA 値、抗 GBM 抗体値、初期あるいは全経過中の治療の内容（副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬、生物学的製剤）、全経過中のアフレシス療法（有無、種類）、透析の有無（離脱、維持透析）、再発/再燃の有無、転帰、死亡の場合には死因、最終血清クレアチニン値。
試料/情報の他の研究機関への 提供及び提供方法	事務局である筑波大学腎臓内科へアンケート用紙を郵送により提供
個人情報の取り扱い	個人の特定に直結するデータ調査はありません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究は厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）の研究助成により実施します。「難治性腎障害に関する調査研究（課題管理番号：20FC1045）」。研究代表者 新潟大学 成田一衛、急速進行性糸球体腎炎（以下 PRGN）ワーキンググループ分担研究者 筑波大学 山縣邦弘は、本研究に携わる研究者の利益相反管理について確認しています。他、本研究は筑波大学腎臓内科の研究費（運営交付金等）により実施されます。本研究の実施にあたり、企業からの資金や寄付金、便益等の提供はありません。
お問い合わせ先	電話番号：077-552-1221（病院代表） 所属・職名：腎臓内科 部長 担当者氏名：大澤 紀之
備考	